

Kagoshima Nursing Federation

# renmei



Vol.  
**76**  
JULY  
2023

- 鹿児島県看護連盟広報機関紙れんめい -

## 活動報告

石田まさひろ 参議院議員

友納りお 参議院議員

令和5年度  
鹿児島県看護連盟通常総会報告

## 新役員紹介

## 研修報告

ポリナビワークショップ



# 私の ワークライフバランス

—セカンドキャリアを輝かせるメッセンジャーナースへ—

田畑 千穂子 NPO 法人メッセンジャーナースかごしま代表理事

# 令和5年度 鹿児島県看護連盟通常総会



## 令和5年度 6/17 土 鹿児島県看護連盟通常総会

原田 昌子  
(副会長・鹿児島厚生連病院) = 文・報告

令和5年6月17日(土) 令和5年度鹿児島県看護連盟通常総会が鹿児島市町村自治会館で、会場参加者97人、表決委任者1653人、会員2404人(令和5年6月1日現在)の2分の1以上の定足数の出席により開催されました。

総会に先立ち、講演では、まず参議院議員友納理緒先生による国政報告が行われました。ことも・子育て支援、メンタルヘルス対策、看護休暇の拡大などすでに多くのことに取り組まれていることなどの頼もしい報告がありました。次に参議院議員石田昌宏先生から「未来に向けて看護に必要な課題の取り組みと政策実現」というテーマで講演されました。看護職の処遇改善・人権法に関する改正など看護の未来に追い風が吹いている。しかし今後の人口減少を鑑みると、看護職の減少は免れないため、処遇改善と同時に看護職1人1人の質を向上させていくことが必要であることを熱く語られました。

総会式典では、物故会員への黙祷後、吉崎会長挨拶、日本看護連盟会長高原静子様、鹿児島県看護協会会長八田冷子様、参議院議員石田昌宏様から来賓祝辞を賜りました。その後連携活動に永年貢献してこられた10名の方々に鹿児島県看護連盟会長表彰が行われ、表彰者を代表して、鹿児島大学

病院、今川真由美様が謝辞を述べられました。

通常総会においては、6月13日に日本看護連盟通常総会に代議員として参加された野添伊知雄様より、第27回参議院議員選挙組織内代表者に石田昌宏現議員が満場一致で決定したという喜ばしい報告がありました。

提出議題では第一号議案 令和5年度スローガン「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」、第五号議案まで議決の結果、満場一致で、原案のとおり承認決議されました。その後新旧役員挨拶があり、旧役員への感謝と新体制での連盟活動のスタートとなりました。最後に昨年に続き青年部の福元優一さんが力強く綱領を宣言し会は終了しました。

最後に、ポストコロナの時代看護職に期待されているニーズに応えるためには、看護職が元気で生き生きと働き続けられる就業環境が必須です。そのためには自分たちで現場を変える、人任せにしないという思い、そして「私も看護師になりたい」という子供たちを増やしたいという思いが強くなりました。次期選挙、組織内代表候補者、石田昌宏議員が引き続き、国政の場で活躍できるように一丸となって応援しましょう。

Greeting

2023

## 会長の挨拶



ご協力くださった皆様、  
誠にありがとうございました。

鹿児島県看護連盟 会長  
**吉崎 和子**  
KAZUKO YOSHIZAKI

盛夏の候、皆様におかれましては、お健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は5類になりました。現場の皆様は、見えないことによる不安と恐怖を抱き、感染対策しておられることでしょう。季節外れのインフルエンザ等その他の感染症も加わり、猛暑との闘いながらの日々は、つらいですね。

さて、鹿児島県看護連盟は、6月17日土曜日、無事、通常総会を終えることが出来ました。

ご協力くださった皆様、誠にありがとうございました。  
また、6月13日日本看護連盟通常総会において、石田昌宏議員が、第27回参議院選挙組織内候補予定者に決定致しました。  
2年後に向けて、成果が出る活動をしてまいります。

今月から、新体制で連盟活動・研修を開始しております。研修には、多くの皆様のご参加をお待ち致しております。

地球温暖化のため、台風が多く到来することが予想されています。自然災害はいつ発生するかわかりません。医療・介護の現場の皆様、患者様や、ご自宅で生活されている方々のご健康とご多幸を祈念致しております。

## 新役員紹介



川薩支部長  
**牧山 さゆり**

連盟の活動や事業については分からないことも多いですが、看護政策に繋がられるような活動、また連盟の普及活動など会員の皆様のご協力のもと務めさせて頂きたいと思っています。

- ① トレーニングやヨガ コロナ禍は自宅で過ごす時間が増えていましたが、今年は体を動かす機会を多く作れればと思います。今まで中止になっていたスポーツ大会等も健康づくりのためにまた参加できたらと思います。
- ② 2人の子供がサッカーをしていた影響もあり、サッカーの観戦も大好きです。今は子供たちも手を離れ、時間の余裕ができたため犬を飼い始めました。家に帰ってからも犬の世話でバタバタした日々を送っていますが、毎日の生活に楽しみと活気を与えてくれる存在となっています。



南薩支部長  
**中島 亘**

今年より、守屋病院で看護師として業務しています。看護連盟とかかわるうちに、看護の未来を考えるようになり、自分なりにできる事を実践していきたいと思っています。皆様の声を現場の声として伝えていき、看護師を目指そうとする新しい芽をからさないように、また現場の看護師の意見を、看護連盟につなげていきたいと思っています。

- ① ツーリング 昨年、大型二輪免許を取得しました。鹿児島県を中心に海岸沿いや山を走り、風を感じリフレッシュを行っております。南薩地区のツーリングスポットを回りたいと思っていますので南薩地区の魅力も伝えていきたいと思っています。
- ② キャンプ 仕事も一生懸命、遊びも一生懸命。人生は、楽しまなきゃ。



第二支部長  
**山内 雅人**

以前、青年部員として7年ほど投票行動や政策について共に学び活動をしてきました。この期間の経験が自身の糧であり今後の支部活動に生かされるように頑張っていきたいと思っています。

- ① 今年は、やりたいと思いつながら実行に移せない「断捨離」をしたいです。
- ② 「ウォーキング」時間があるときは、JR線で3駅ほど移動し自宅まで10km以上のウォーキングとかけます。行ったことない所を歩いたりするのは新鮮で楽しいです。ポッドキャストを聞きながら歩くのをお勧めします。ポッドキャストでトークなどを聞きながらのウォーキングも集中出来て楽しいですよ。



出水支部支部長  
**野添 伊知雄**

連盟活動は、前年度出水支部の幹事長として活動しておりました。出水支部においても支部の役員の方々や会員の皆様の協力を頂き、活発な活動ができればと思っています。

- ① ② 家庭菜園、庭の手入れや自宅周辺の整備 生まれも育ちも出水で鶴の渡来地の近く住んでいます。冬季は、自宅前の田んぼに鶴が餌をついばみ、空を見上げるとまさに鶴翼の陣の編隊を組み鶴が飛来しています。河川を挟み田園風景、後ろは山で自然だけは豊かで、私の趣味兼実用として庭の手入れや自宅周辺の整備です。夏場は、ほぼ毎週といっていいほど行っています。草刈り機やチェーンソー、剪定用バリカンなど園芸用機器や工具を揃え、動んでいます。敷地内のスペースを利用して、ネギやオクラ、ニラなど栽培できたらいいなと思っています。



幹事 / 広報委員長  
**有木 攻**

連盟の活動は5年ほどで、広報の仕事もまだまだ分からないことが多い状態ですがお役に立てる情報発信ができるように頑張っていきたいと思っています。

- ① コンサート 今年こそは推しのアーティストのコンサートに行ければと思っています。
- ② 工場見学 昔は子供と一緒に県内の工場見学をしていました。今度は県外の工場見学もしてみたいと思います。お堅い内容だけでなく皆様の楽しみの一部になれるような広報誌づくりに取り組んでいきたいと思っています。



監事  
**今吉 和子**

今回また監事をお引き受けすることになりました。

- ① 小旅行 若いころは海外旅行や遠くまで出かけていましたが、コロナや夫が病気で旅行を控えました。今後は病気が仲良く連れ立って、夫と小旅行をしたいと思っています。ゴルフバックをもつての旅行ができれば万歳！かな？
- ② フラワーアレンジメント・着付け教室、長くスイミングとゴルフを続けています。「友人や趣味のグループの人と多様な交流を持つことは、脳がより刺激を受けることになり認知機能の低下を抑える」と言われます。退職後はますます友人、仲間の大切さを感じます。最近ではフラワーアレンジメントや着付け教室にもいくようになり、コミュニケーションの場が広がりました。



幹事  
**田畑 千穂子**

新しい役員のご紹介をいたします。

挨拶に加え、①チャレンジしたいこと、②趣味、についても紹介いただきました。本年度も引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。

6年間の看護協会活動で、看護政策実現のための看護活動の重要性を強く感じておりました。看護職が抱える多くの課題に、看護連盟の立場からの活動に踏み出すこととなります。これまで同様、看護連盟でも皆様とのご縁をつながせて頂き、ご理解とご支援をお願いいたします。

医療を取り巻く環境は加速度的に変化しています。日本看護協会は国政へ、県看護協会は県行政、市町村へと様々な要望や試事業等を展開されております。看護界の代表である石田議員、友納議員の活躍は素晴らしく、看護政策の実現に向け力強く政治活動を進めてらっしゃいます。鹿児島からも、私たち看護連盟会員の一人一人が「共感する仲間づくり」に努めながら、働き方改革や新たな看護サービス提供体制の開発など、看護職の声を政治に届けて参りましょう。



十島村ワクチン接種プロジェクト



# 私のワークライフバランス

## —セカンドキャリアを輝かせるメッセンジャーナースへ—

田畑千穂子

NPO 法人メッセンジャーナースかごしま 代表理事



在宅療養中の父の散髪

### NPO法人 メッセンジャーナース かごしまの設立へ

2021年10月に開催された、メッセンジャーナース認定設立10周年記念講演で私は『メッセンジャーナースの出番です』そして、次のステージへと締めくくりました。その次にNPO法人を設立いたしました。自治体や企業・団体等からの委託事業や指定管理事業を行うことにより、社会全体の健康の増進と公益の増進に寄与することを目的としています。令和4年度の活動は、①メッセンジャーナース事業、②地域の看護の拠点づくり事業（てらの保健室を11回開催等）、③アドバンス・ケア・プ

### そうだ！ メッセンジャー ナースになるっ！

私は2010年に福岡県看護協会の認定看護管理者教育課程サードレベルで村松静子先生に出会いました。研修で村松先生が「新たな看護サービスが求められるが、どんなサービスが必要だと思いますか？」と質問されました。私は「施設や組織に縛られず、かかりつけ医から、特定機能病院のように高度医療を提供する施設まで、組織に属さずに依頼があればどこへでも寄り添って看護を提供できるそんな看護サービスが必要と考えます。」「かかりつけ看護師が地域へ急性期病院へと自由に、要望に応えられるそんな看護サービスです」と答えました。すると、村松先生は「実は、そのようなサービスを提供できる看護師がいます。メッセンジャーナースです」と資料を配布された。私は「何が腑に落ち「そうだ！メッセンジャーナースになるっ！」と、決断しました。

### 父の在宅看取りの経験から 「メッセンジャーナースへ！」

私が病棟看護管理者の頃、COPDの父が呼吸性心不全から頻拍発作で何度も救急搬送され、ショック状態に陥って意識確認できない時もありました。「今度は厳しかも」と母からの電話に覚悟する日々でした。

ランニング（ACP）推進事業（住み慣れた地域で生きるを考える市民の集いの開催）、④ヤングケアラーの支援に関する事業、⑤自治体や企業・団体からの委託事業（十島村ワクチン接種プロジェクトへの参加等）でした。

### 母の介護と ワークライフバランス

2025年問題、2040年問題を見据え、人生100年時代に、メッセンジャーナースは、病院で働く若い世代の看護師たちだけでは抱えない部分を、生涯現役の中でやりがいを持って担っていくことができると思っています。それがメッセンジャーナースの役割であり、魅力と考えています。メッセンジャーナースは、私のように長く看護管理者を担ったものでも、一人の看護師として「看護の喜び」に触れながら、生きがいをもって働き続けられるものと考えます。そして、潜在看護師を掘り起し、現役の看護職の仲間達が働き続けられる環境を整えるなど、看護師不足への「切り札」になりたいと夢見ています。

この春から私も、90歳となった母の介護生活に突入いたしました。母を師匠に野菜づくりに苦戦しながら、メッセンジャーナースを育成・支援していくことが私のワークライフバランスです。

そして、高血圧症の母が脳卒中を起こさないかと心配で「こんな時に駆けつけてくれる看護師はいないだろうか」「もし、フリーな看護師があれば雇いたい」と考えるようになりました。

在宅療養中で散髪屋に行けない約10年間、父の散髪は私が担当しました。酸素療法中でも海釣りに行きたいと「死んでもいいから釣りに連れて行って」とせがむことが度々ありました。

病院勤務する私の休日と父の体調（風邪症状がなく、排便状態もよく、熱中症の恐れがなく、寒くもない、快晴で）が合うのは年間を通して極々わずかでした。今でいう、「お出かけサービス」「見守りサービス」といったものかもしれません。父が逝ったその日は県看護協会のファーストレベルの講師を引き受けていましたが、変更させて頂きました。母の介護力のお陰で、父の在宅療養で勤務調整したのはこれが唯一だったと記憶しています。最期の頃の父の口癖は「その時がいつでもいいように、仕事は整理しておきなさい。」「いい看護の仕事をしなさい」でした。

父の在宅看取りを経験し、私のように親の介護や急変への対応に動ける看護師の存在が求められる看護師の仲間が多くあるはず、看護職の退職防止のためにも、そんな存在になりたいと思うようになりました。



写真左=母を師匠に野菜づくり

# ポリナビワークショップ

2023/3/18 土

平山 龍一（鹿児島市医師会病院）=文・報告

会場 鹿児島県厚生連病院1階 多目的ホール  
参加者 県内各施設より80名

特別講演テーマ  
「看護職の働く環境の現状と未来に向けた取り組み」  
講師 友納理緒先生（参議院議員）

パネルディスカッションテーマ  
「看護職の働く環境構築のために必要なこと」  
パネリスト  
「働く環境を構築するための鹿児島市の取り組み」  
西洋介（鹿児島市市議会議員）  
「看護管理者が考える看護職の働きやすい環境とは」  
實代淳（鹿児島県看護連盟）  
「看護学生が選ぶ職場環境とは」  
嶋谷圭一（千葉大学予防医学センター特任助教）

ます。女性にとっての働きやすい環境づくりは、人員不足に悩まされている私たち看護職にとっても重要な課題と言えます。

特別講演では、講師に参議院議員の我が友納理緒先生をお招きしました。日本の少子高齢化は急速に進展し、高齢者の割合は全人口の4割と言われています。日本の総人口は減少の一途を辿る中、2040年には高齢者の割合が1.5倍になる見通しで、今後ますます看護職の人材確保は重要な課題となります。その為には、まず私たちがいつまでも健康に働き続けなければならない、未来の担い手である若手にとっても「魅力ある職業」「魅力ある職場」にならない限りません。「働きやすい職場環境を整える」取り組みは切っても切り離せない重要なミッションであることを学びました。看護職の賃上げの問題、適性配置、残業時間や前残業の問題。夜勤・仮眠環境の問題、パワハラ・セクハラ問題、その他処遇・保証制度の見直し、そして女性特有の体調の変化や、妊娠・出産・育児をサポートする体制の強化、さらに産休・育休中に現場に残って頑張ってくれている人へのサポートについてなど、私たちの代表は看護職の働きやすい環境を目指し、様々な観点から日々奮闘しておられること知りました。

また、働きやすい環境を整える手段に

ポリナビとは、「Political Navigators Network」の略で、若手看護職が中心となり看護の未来を政治の側面から学び、考え、実行することで、日本の看護・医療がより良いものとなることを目指しています。新型コロナウイルスの影響もあり、鹿児島県看護連盟青年部主催の研修会も久しぶりでした。冒頭では鹿児島出身の自民党衆議院議員宮路拓馬先生がサプライズで駆けつけてくださいました。先生は男性ですが、自民党女性局に所属されており、働く女性に焦点を当て、子育て支援や女性特有の健康問題に向けた取り組みをされている。

は「業務の効率化」も含まれます。中でも「デジタル化」は今、国が力を入れているもののひとつです。近い将来、私たちの看護師免許もマイナンバーカードに紐づけできるようになり、これにより潜在看護師の人数把握や、個々の看護師のスキルに応じた適切な人員配置が可能となることで、マンパワーの確保に貢献できるようなるそうです。他には、ネットワーク環境の整備により、「看護をリモートで提供」なんてことも実現可能になるとのことでした。タスクシェア、タスクシフトという意味では、将来AIが看護記録をする日が来るのではないかという話もありました。賛否両論あるとは思いますが、私たちの就業時間の多くを占めるのが看護記録です。ベッドサイドで患者とコミュニケーションを図りながら、同時にAIが記録をしてくれるのであれば、私たちはもっと患者に寄り添う時間を増やすことができるのかもしれない。

後半では鹿児島市議会議員の西洋介先生、鹿児島県看護連盟の實代淳子氏、国立千葉大学の嶋谷圭一先生も加わりパネルディスカッションが行われました。「看護職の働く環境構築のために必要なこと」について、それぞれのお立場からのお話があり意見交換をすることができました。



今回、改めて看護と政策について考えさせられました。現場の人間が「こうしたらいいのに」「こうしてほしい」といったことを仲間で言っているだけでは法や制度を変えることはできません。先生方に力を発揮して頂くためにも、私たちは現場からもっと声を上げていく必要があると感じました。友納先生は看護師でありながら弁護士でもおられます。法律のプロが私たちの代表をされている、このような方を政界に送り出せることは私たちにとても大きな強みです。看護連盟青年部としても、多くの「現場の声」を政界に届け、そして先生方の活躍を皆様に届ける、現場と政界の架け橋となるよう発信していく必要があると感じました。

# 友納りお

## TOMONOH RIO

参議院議員



ともりのりお official site  
<https://tomonoh.net/>

ぜひ  
Check



6月21日に第211回通常国会閉会。

令和5年1月23日からの150日間。

予算や内外の諸課題に対応する法案が多く成立。閣法は60本のうち58本成立。厚労・内閣・法務委員会で質問の機会をいただくなど、様々な経験をさせていただきました。

閉会中は皆さまのもとに伺う機会が増えます。

2023/06/06 火

6月6日は午前午後の厚労委員会の間に、面会やレク、打ち合わせがぎっしり。

急遽、性暴力支援センター日赤なごや「なごみ」の方にもお話をうかがうことができました。性暴力にあった被害者ケアの専門知識をもつ看護師（SANE）が24時間対応して下さっています。現状や課題についてうかがえました。

6月7日は、食育調査会からスタート。

保育園での食育と千葉県いすみ市の取組みについて。

日頃から食育に取り組んで下さる保育の皆さまに感謝。栄養士の配置がもっと必要です。いすみ市の有機給食や給食無償化の取組みも素晴らしい。今後は都市の子どもたちとの交流を進めたいと太田市長。体験が一番の食育ですね！

その後、本会議や会議が続きましたが、今は、終末期医療についてのプロジェクトチームが終わったところ。患者さんの自己決定権の尊重のためにも法整備が必要だとお伝えしました。

2023/06/23 木

6月23日は、石田昌宏先生との対談から。次号のアンフィニの取材です。お楽しみに！

お昼は、女性局役員会。山田太郎先生から子どもDXのお話。

子どもや家庭を適切な支援と繋げるには。

日本助産師会の高田昌代新会長と面会。ご指導いただきながら、ともに政策に取り組みます！



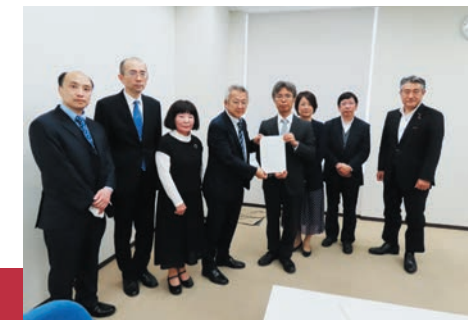
Masahiro Ishida  
**石田まさひろ**  
 参議院議員 Member of the House of Coucilers



日本看護連盟通常総会にてご挨拶



診療報酬・介護報酬に関する打ち合わせ



スポーツ庁へ脳脊髄液減少症に関する要望書提出

鹿児島県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございます。  
 電気やガソリンをはじめ、物価の高騰により、医療機関や訪問看護事業者等は大きな影響を受けています。さらに、社会全体で賃上げが進む中、看護職も一層の処遇改善を進めねばなりません。そこで、賃上げに必要な医療機関等の収入を増やすために、診療報酬の基本的点数である入院基本料や訪問看護基本療養費等を大幅に引き上げる必要があります。現在、診療報酬の大幅な引き上

げと、全ての看護職員の賃金引き上げを可能とするための財政措置を明示することを政府に求めています。  
 6月13日に開催されました、日本看護連盟通常総会において、次期参議院議員選挙の組織内候補予定者としてご承認をいただきました。初当選以降、組織代表の看護職員として、看護協会が提言する看護政策実現のため力を尽くして参りました。これからも現場の声をしっかりと受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動していきます。引き続きよろしくお願いいたします。



世界に誇れる羽毛ブランド  
**HARUO DOWN**

いい羽毛からしか、  
いい羽毛ふとんは生まれません。

GOOD DESIGN



品質保証 HARUOラベル

HARUO  
DOWN  
詳細はこちら▶



東洋羽毛九州販売株式会社 鹿児島営業所  
〒890-0063 鹿児島県鹿児島市稲池1-64-25 ウイング稲池1-B  
フリーコール 0120-881-125



マスクをしています



手洗いをしています



消毒をしています



取扱商品

- アコヤ真珠 ●ベビーパール
- 黒真珠 ●南洋真珠（白・ゴールド）



i.perna by イッシン

イッシン iS パール（同）

〒862-0920

熊本市東区月出8丁目3-52

☎ 0120-32-2020

営業時間 10:00 ~ 17:00 定休日 日・祝日

編集後記  
Editor's note

おかげさまで、総会も開催され役員交代もありました。節目は色々な事を考えさせられると同時に、振り返ると感謝ばかり。1日の終わり、週の終わり、月の終わりなど、それぞれの節目で、それはそれで良かったと思えることに幸せを感じます。「ありがとう」、「おかげさま」を言葉にして、笑顔で上を向いて歩こう！鹿児島を盛り上げていくのは私達だっ  
て勢いで。

この広報紙を手にとっていただき、最後まで読んでいただきありがとうございます。  
これからも、読み応えのある広報紙をお届けできるよう、一層精進してまいります。

広報委員：有木・稲本・森田・畑中